

令和2年度【kuru-kuru クルーズ令和2年5・6月号】

皆様、こんにちは！お久しぶりです！

新しい年度が始まりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で世界中のクルーズ船に影響が出ています。沖縄県でも3月に入って7月初旬現在までクルーズ船の寄港がストップしています。沖縄県に寄港するクルーズ船の多くは中国や台湾、香港を発地とするショートクルーズでした。新型コロナの感染が世界中に広がるにつれてクルーズ船の運航が難しくなり、各社自船の運航を見合わせていました。皆様もご存じの通り、中国、台湾、香港いずれも新型コロナウイルスの感染拡大は（現時点では）一定の収束をしていると言えます。そこでクルーズ船運行各社は日本を合わせたこの3つの国でのクルーズを徐々に再開していこうと考えているようです。

では、クルーズ船を運航する各船社の今後の動向について、世界中のクルーズ船社が加盟するクルーズライン国際協会（CLIA）は協会公式HPにて次のようにアナウンスしています。

引用元：<https://cruising.org/en/cruise-industry-covid-19-facts-and-resources> [翻訳：事務局]

世界がCOVID-19に関する課題に取り組み続ける中、クルーズ業界全体（クルーズ船社、旅行代理店、港、寄港地、サプライヤー含む）にとっての最優先事項が、乗客、乗組員、そして私たちが訪れる場所のコミュニティの健康と安全であることに変わりはありません。世界のクルーズ・コミュニティを代表するCLIAは、協会員（クルーズ船社）とそのパートナーがこの“COVID-19”という未知の海を共通の一つの方向性をもって共に渡っていけるように指針を確立しました。

Q:COVID-19を受けて、CLIAクルーズ各社はどのような行動をとったのでしょうか？

A:この世界的な公衆衛生危機が発生した当初から、CLIAのクルーズ客船は、入手可能な最新の情報に基づいて、迅速かつ積極的な行動をとってきました。世界保健機関（WHO）が国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態を発表してから48時間以内に、CLIA加盟クルーズ会社は、旅行、接触、症状スクリーニングを含む一連の強力な規定（ルール）を世界的に導入し、米国疾病対策予防センター（CDC）やWHOなどの現行の保健当局の指導に基づいて継続的に強化しました。3月中旬のWHOのパンデミック宣言を受けて、CLIAクルーズラインは迅速に行動し、全世界の客船の運航を自主的に停止しました。

Q:客船の運航再開はいつ頃になるのでしょうか？

A:そのタイミングは、科学者や医療専門家からの意見を含め、多くの要因に基づいて決定されます。クルーズ産業の世界経済への多大な貢献を考えると、CLIA加盟クルーズ会社は、大切なお客様を船上にお迎えし、次の冒険にご案内することに加えて、世界経済と社会の回復に貢献できることを楽しみにしています。

以上、このようにCLIAをはじめとするクルーズ各社は万全な感染予防策を講じたうえでクルーズ再開を待ち望んでいます。今後の世界での新型コロナウイルスの感染者数やその状況などを見守りながらにはなりますが、国等による安全対策をしっかり行ったうえで、以前のように中城湾港に大型のクルーズ船が寄港して賑わう様子を取り戻せるといいですね！

令和2年度新規事業について

中城湾港でのクルーズ寄港受入事務局である我々は新型コロナウイルスの影響によってクルーズがストップしているこういう時にこそできることはないかと考え、例年通りのクルーズ受入の事務に加えて、令和2年度の新規事業として以下の2つを実施します！

いずれの事業もアフターコロナのインバウンド需要回復に備え、インバウンド観光客の満足度向上に向けた事業となっています。

以下にて令和2年度の新規事業についての詳細を書いていきます。

・中城湾港及び周辺観光情報発信事業

この事業では現状、まだまだ認知度の低い中城湾港に関する事及び周辺観光施設に関する情報発信を行い、中城湾港に関する発信手段の多様化を行います。事務局運営の各種 SNS による多言語（中国語・英語・日本語）での情報発信に限らず、国等関係機関と連携し、Web 上で既に発信されている中城湾港の情報についてなどの整理、寄港地観光に役立つパンフレットの作成など、中城湾港の総合的な PR につなげたいと思います。

この事業によってタビマエ、タビナカの観光客が容易に中城湾港をはじめとする中部の情報を収集でき、観光客の中部での周遊や滞在がより充実したものになることを目指します。

発信は多言語（中国語・英語・日本語）によって発信を行い、その内容は主要観光施設からリピーター向けの地域との交流や食及び文化体験など多岐にわたります。また、事前の嗜好調査によって求める情報を把握したうえでより効果的な情報の発信をしていきたいと考えています。

また、単なる観光地の紹介だけでなく、掲載する観光地を組み合わせた「クルーズ船寄港地観光モデルルート」についても発信して、よりダイレクトに観光客にリーチする PR を実施していきます。

・インバウンド受入支援事業

上記の情報発信事業と並行して PR する観光地に対してのインバウンド受入支援事業も行っています。事業内容は、県内旅行社等に事業を委託し、外国人ガイド等を講師として迎え、実際に観光施設を視察しつつ受入体制の整備（新型コロナウイルス感染症対策を含む）やサービス向上に関するアドバイス支援を行います。また、観光施設からの希望があれば当組合の語学専門員にて多言語対応に伴うパネルサインやメニューの翻訳等の支援を行います。

委託事業の範囲内で支援が出来なかった施設については、当組合独自での支援を行い、より多くの観光事業者に対してインバウンド受入に関する不安を払拭できればと考えています。

新型コロナウイルスの影響で観光産業は大きな打撃を受けていますが、このスローな期間を何もせずただ黙って待っているだけでは観光客が戻ってきたときに以前のようにはいかないでしょう。民間事業者の皆様も沢山悩んで試行錯誤をしているかと思います。そんな時に当組合の立場からできることとして上記2つの事業の実施を決めました。

当組合では常に前向きに事業を実施し、アフターコロナの中部観光をビフォアコロナ以上のものにしたと考えています！

Kuru-kuru クルーズ読者の中に中部の観光事業者さまがいらっしゃいましたら、ご連絡をお待ちしています！一緒に中部の観光をレベルアップさせましょう！

kuru-kuru クルーズ 5-6 月号はここまで！

いつも読んでいただき、ありがとうございます！

※本記事に掲載されている画像、写真やそれらに付随する肖像権・著作権等はすべて中部広域市町村圏事務組合に帰属します。

↓ kuru-kuru クルーズページ ↓

<http://maichu.jp/cruise/reports.php>



過去の記事はコチラから！

↓ 中部広域市町村圏事務組合 HP ↓

<http://maichu.jp/cruise/>



クルーズ寄港予定表随時更新中！

~~~~~  
**【お知らせ】実力を発揮したいあなたを探しています！【英語・中国語】**

中部広域市町村圏事務組合では外国語が話せる又は外国語勉強中の方を常時、募集しています。「勉強した言葉を実際に使ってみたい！」、「言語を使ってお小遣いを稼ぎたい！」、「クルーズの現場を体験してみたい！」など動機や年齢、性別は問いません。

**仕事内容**

- ・ 船客とタクシードライバーや両替業者間のコミュニケーション補助
- ・ 周辺観光地の紹介
- ・ 船客の誘導や港湾内の安全に関わる言語サポート

高校生からシニアまで幅広く活躍しており、当日は事務局スタッフがサポートいたしますのでまずはお気軽にご連絡ください！

皆さんの可能な言語と寄港する船に合わせて事務局から連絡をさせていただきます。

「私こそは！」という方、事務局宛にコチラまで！

[cruise@chubukouiki-okinawa.jp](mailto:cruise@chubukouiki-okinawa.jp)